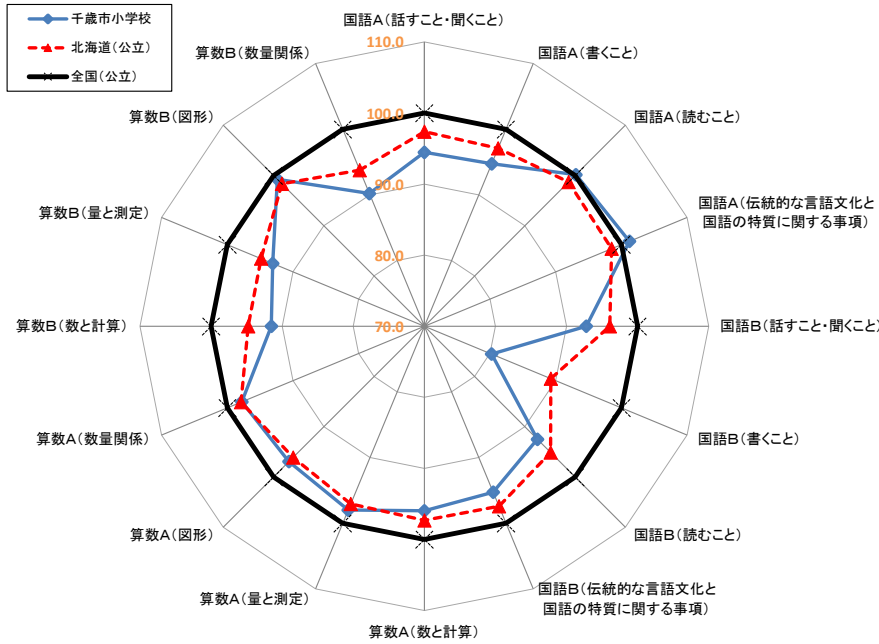


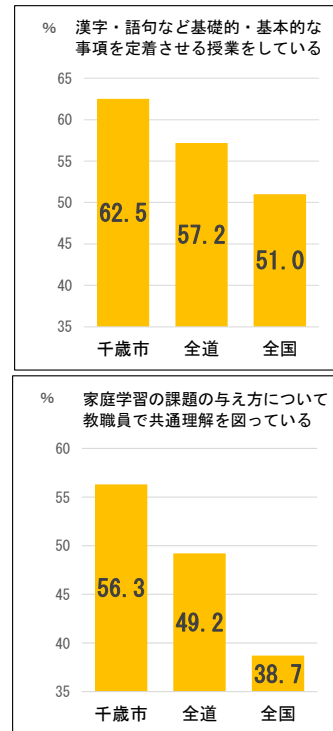
■ 千歳市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:16校、児童数:941名)

【教科全体の状況】

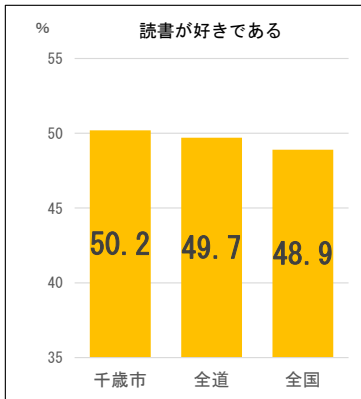
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



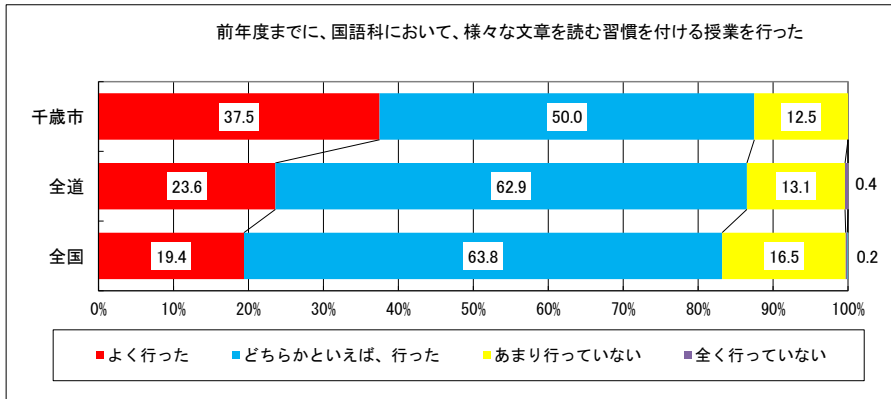
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは全国平均正答率を上回り、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」でも全国平均を上回っている。	○ 各学校で、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行うことにより、児童が読書を行うことが好きになり、国語の「読むこと」の力が高まってきたと考えられる。
児童質問紙	○ 読書が好きなお子さんの割合が全国より高い。	
学校質問紙	○ 漢字・語句などの基礎的・基本的な事項を定着させる授業や、様々な文章を読む習慣を付ける指導を行った学校が多い。家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った学校の割合が全国より高い。	

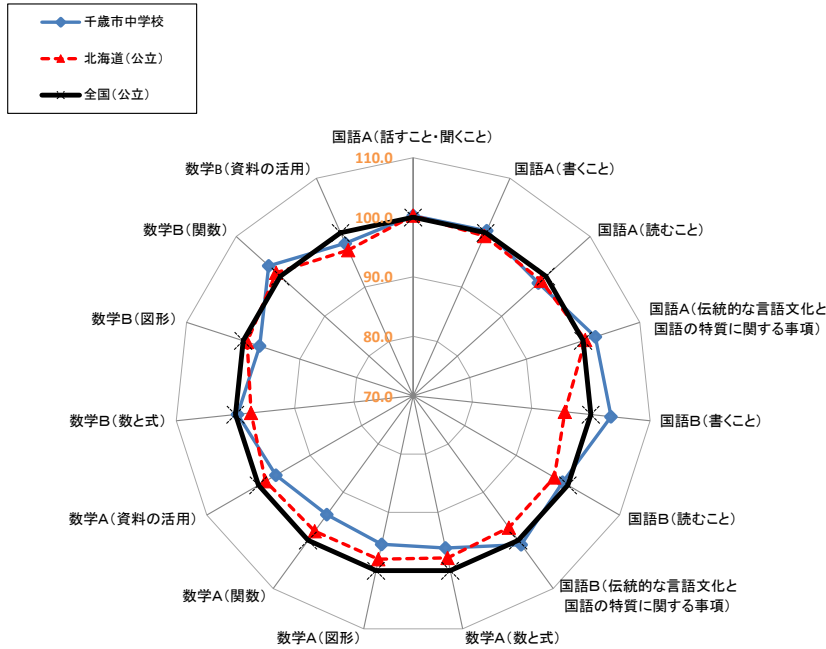
【千歳市の学力向上策】

- ◎ ICT機器(電子黒板、実物投影機、ブルーレイレコーダー)の全普通教室への設置と活用
- ◎ 教員による千歳市学力向上検討委員会において、授業改善案、学習プリント「ちとせの国プリ」などの作成
- ◎ 千歳市独自の学習支援員による習熟度別少人数指導の充実、特別支援教育支援員の配置、学校図書館司書の配置
- ◎ 長期休業中の学生ボランティア(千歳科学技術大学)による学習サポートの充実
- ◎ 中学校区における小中連携協議会の設置と家庭学習の手引きの作成

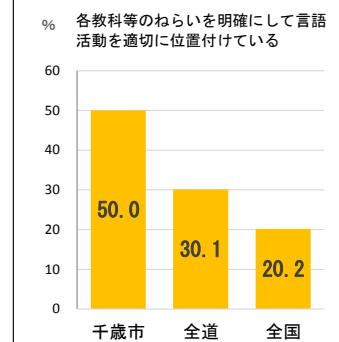
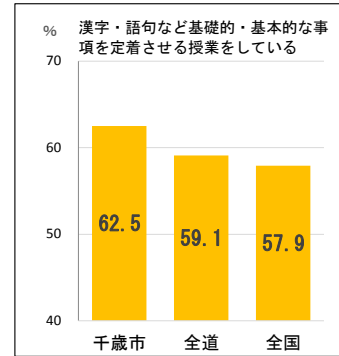
■ 千歳市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、生徒数:815名)

【教科全体の状況】

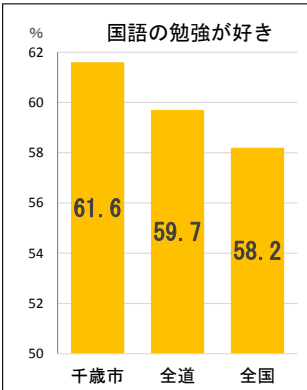
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



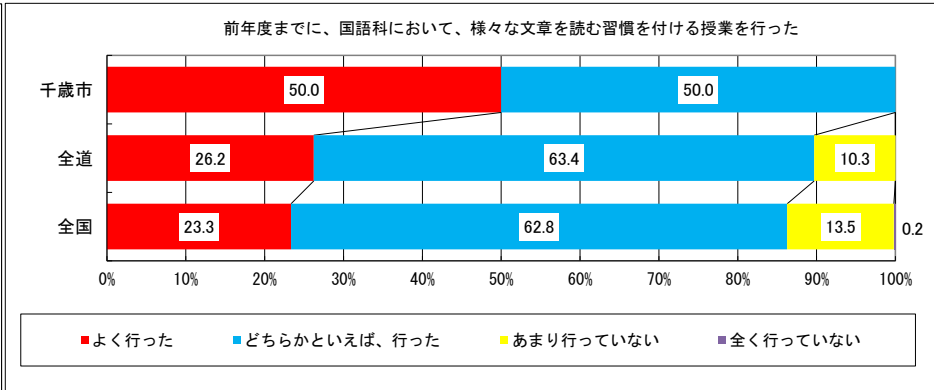
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国平均を上回っている。 ○ 数学B「関数」が全国平均を上回っている。 	○ 各学校で、授業のはじめに目標を示したり、言語活動の充実について学校全体で取り組んだことにより、国語科における基礎的・基本的な知識・技能の定着はもとより、それらを活用するために必要な思考力・判断力・表現力等が育まれたと考えられる。
生徒質問紙	○ 国語の勉強が好きという生徒の割合が、全国より高い。	
学校質問紙	○ 漢字・語句などの基礎的・基本的な事項を定着させる授業や、様々な文章を読む習慣を付ける指導を行った学校が多い。言語活動の充実について、学校全体で取り組んだ割合が全国より高い。	

【千歳市の学力向上策】

- ◎ ICT機器(電子黒板、実物投影機、ブルーレイレコーダー)の全普通教室への設置と活用
- ◎ 教員による千歳市学力向上検討委員会において、授業改善案、学習プリントの作成
- ◎ 千歳市独自の特別支援教育支援員の配置、学校図書館司書の配置
- ◎ 長期休業中の学生ボランティア(千歳科学技術大学)による学習サポートの充実
- ◎ 中学校区における小中連携協議会の設置と家庭学習の手引きの作成